



公明党が推進

災害対策をさらに強化!

文京区議会6月定例議会にて、補正予算が成立しました。主な事業をご紹介します。

緊急防災対策事業



今年1月に、能登半島地震が発生し甚大な被害が発生しました。本区としても、首都直下地震などの大規模災害の発生に備え、区民一人ひとりの防災意識の向上とともに、在宅避難の推進や地域防災力の向上を図るため、緊急防災対策事業を実施します。

1. 防災用品配布事業

区民一人ひとりが災害に備えた物資の備蓄等につなげるため、区内の全世帯に防災カタログを配布し、各世帯で必要な防災用品を提供します。



配布対象 区内の全世帯

カタログの内容:

- 防災対策に関する周知啓発 (身近な災害リスク・備蓄の必要性等)
- 防災用品 (避難用品・携帯トイレ・バッテリー・生活用品・非常食等)

防災用品の申し込み

- カタログから1世帯5,000ポイント(5,000円相当)を上限に選択
- 申込時にアンケートを実施(意識調査)

実施時期(予定) 令和6年9月頃から

2. 災害時のマンションのトイレ対策セミナー

災害時におけるマンションのトイレ対策について周知啓発を図り、携帯トイレの備蓄や発災後のトイレの自己点検等、マンション住民の主体的な防災対策を促進します。



配布対象

区内のマンション管理組合

内容

災害時のトイレのリスクを知り、排水設備等の自己点検の手法を学ぶ講座

実施時期(予定) 令和6年10月頃

3. 防災資機材購入費助成

災害時における区民防災組織やマンション管理組合の応急活動を支援するため、防災資機材の購入経費を一部助成します。



配布対象

区民防災組織(町会・自治会等)・マンション管理組合

対象資機材

災害時の応急活動に要する資機材(発電機・電動階段昇降台車等)で、取得価格が30,000円以上の備品類が対象

助成金

購入経費の3分の2(上限100,000円)

実施時期(予定) 令和6年7月から

新型コロナワクチン、インフルエンザワクチン接種



公明党文京区議団として、文京区議会2月定例議会本会議代表質問でとりあげ、さらに令和6年度予算審査特別委員会でも質問をして、新型コロナワクチン接種の費用助成が決定しました。

1. 高齢者を対象とする定期接種

対象 65歳以上の方、または60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能、またはHIVによる免疫の機能に重い病気があることにより、身体障害者手帳1級を所有する方

接種期間 **新型コロナワクチン**
令和6年10月1日～令和7年3月31日(予定)
インフルエンザワクチン
令和6年10月1日～令和7年1月31日(予定)

費用助成 全額(自己負担無料)



2. 小児インフルエンザワクチン任意接種

対象 生後6ヶ月から中学3年生までの区民

接種回数 生後6ヶ月以上13歳未満 2回
13歳以上中学3年生まで 1回

接種期間 令和6年10月1日～令和7年1月31日(予定)

費用助成 1回3,000円
(自己負担は1,000～1,500円程度)





6月定例議会開催

岡崎よしあき議員が代表質問

窓口への軟骨伝導イヤホン設置を



問 加齢に伴う難聴者の方への合理的配慮と支援強化として、窓口への軟骨伝導イヤホンの設置を提案しますが、見解を伺います。



区長 使用者の聴力や周囲の音の大きさなど、一定の課題があるものの、衛生面等のメリットがあることから、高齢者の窓口対応における活用を検討します。

病児保育の充実について



問 保育園からのお迎え要請があった際に、保護者に代わって迎えに行き、保育ルームで預かるサービスの導入を要望しますが、見解を伺います。



区長 病児保育施設の看護師や保育士によるタクシー等での迎えが必要となることから、職員体制の確保などの課題があるため、他自治体の事例を参考にしながら研究します。

ペロブスカイト太陽電池の活用検討を



問 軽さや柔軟性が特徴である、次世代の太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」の活用検討を始めるべきと考えますが、見解を伺います。

区長 ペロブスカイト太陽電池は、屋上や屋根以外の場所にも設置することが可能であり、本区のように集合住宅が多い密集した地域では有益な技術として注目しています。今後とも、都の実証実験に加え、他自治体等の取組を情報収集し、有用性や導入の可能性について検討を進めます。

団体意見交換会を実施しました！

令和7年度の文京区予算編成に向けて、16の各種団体様との意見交換会を開催しました。限られた時間でしたが、貴重なご意見・ご要望を頂戴しました。予算に反映するべく全力で取り組んでまいります。



写真は昨年度の意見交換会の様子

公明党が岸田首相に緊急提言

酷暑克服へ光熱費補助

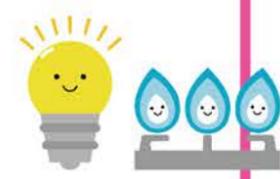
今夏の酷暑を乗り切るため政府は、緊急支援策として8月使用分から3ヵ月間、電気・ガス代の負担軽減を実施します。一般的な家庭で補助額は合わせて月2,125円となります。また、ガソリンや灯油代の高騰を抑制するための補助金も年末まで継続します。軽減策を巡り公明党は6月27日に岸田首相に対し、物価高対策に関する緊急提言を実施。4月以前の水準を超える助成が必要だと要請しました。

電気・ガス料金支援 8月使用分から10月使用分まで実施

■ 2024年8、9月使用分
電気 1kw時 低圧 4.0円 高圧 2.0円 都市ガス 1k立方m 17.5円補助

■ 2024年10月使用分
電気 1kw時 低圧 2.5円 高圧 1.3円 都市ガス 1k立方m 10.0円補助

ガソリン・灯油など 燃料油価格抑制へ補助 年末まで継続



お気軽にご相談ください！ TEL 03-5803-1318 FAX 03-3813-9721 E-mail info@komei-bunkyo.gr.jp

無料法律相談 | 毎月第3水曜日14時～16時まで

お申し込み方法 予約受付は、下記の連絡先にご連絡ください。当日は、シビックセンター22階公明党控室へお越しください。

ご意見・ご要望などはこちらまで▶

